

**TELEPHONE SET WITH MEMORY CARD**

Patent Number: JP1137767  
Publication date: 1989-05-30  
Inventor(s): FUKUNAGA MASAYUKI  
Applicant(s): NEC CORP  
Requested Patent: ☐ JP1137767  
Application Number: JP19870295647 19871124  
Priority Number(s):  
IPC Classification: H04M11/10; H04M1/274  
EC Classification:  
Equivalents:

**Abstract**

**PURPOSE:** To enable an abbreviated dial and functions of recording and reproducing an uttered voice by making a necessary memory a memory card and constituting the circuit of a telephone set main body so that it can accept the memory card which is freely mountable/dismountable.

**CONSTITUTION:** To register personal data, data and a command are inputted from an operating part 8, and a processing part 2 writes the input in a personal data storing circuit 7 and display it with a display part 9. To make a call, an abbreviated dial number, etc., is inputted from the part 8, then the part 2 retrieves dial information from the circuit 7 and transmits it to the external. In case recording-start is instructed from the part 8 during busy, the processing part 2 retrieves a vacant area in a voice storing circuit 5, and transfers the leading address to a voice start address storing circuit 6, and at the same time, an A/D conversion part 3 digitalize the voice inputted from an external interface part 1 to write it in the circuit 5. To reproduce the voice, a voice signal is read out from the circuit 5, converted to a voice in the part 3, then transmitted to a handset 11.

Data supplied from the esp@cenet database - 12

(2)

① 日本国特許庁 (JP) ② 特許出願公開  
③ 公開特許公報 (A) 平1-137767  
④ Int. Cl. ⑤ 出願番号 ⑥ 公開 平成1年(1990)5月30日  
H 04 M 11/10 8020-SK 7251-SK  
1/274 審判請求 未請求 発明の数 1 (全1頁)

⑦ 発明の名称 メモリカード付き電話機

⑧ 特 國 昭62-255647  
⑨ 出 願 昭62(1987)11月24日  
⑩ 発 明 者 福 永 雅 行 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内  
⑪ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号  
⑫ 代 理 人 弁 理 士 井ノ口 義

【特許請求の範囲】

相手先個人に関するデータおよび通話時の相手の音声  
を記憶することができるメモリカードと、前記メモリカ  
ードを差込自在に搭載することができる電話機本体からな  
り、前記電話機本体に、前記メモリカードとの整合を行  
うインタフェース部と、使用者の操作により前記メモリ  
カードに記憶させるべきデータを入力し、また通話中に  
おける前記メモリカードへの録音開始および録音終了を  
指示する操作部と、前記メモリカードに記憶させたデー  
タを表示する表示部と、前記インタフェース回路に接続  
されたアナログ音声信号をデジタル音声信号に変換、また  
デジタル音声信号をアナログ音声信号に変換することがで  
きるアナログデジタル変換部と、前記デジタル音声信号  
を前記メモリカードに書き込み、読み出すことができる  
処理部を有することを特徴とするメモリカード付き電話  
機。

(57) 【要約】

【目的】 必要なメモリ部分をメモリカードとし、電話機  
本体を差込自在のメモリカードに対応できる回路構成と  
することにより、短縮ダイヤル、会話音声の録音、再生  
などの機能を実現する。

【構成】 個人データの登録を行う時は操作部8よりデー  
タ及びコマンドを入力すると処理部2は個人データ記憶  
回路7に 込み、表示部9で表示させる。発呼する時は  
操作部8から短縮ダイヤル番号等が入力されると、処理  
部2は回路7を探索したダイヤル情報を外部に送出する。  
通話中に操作部8より録音開始の指示があると、処理  
部2は音声記憶回路5の空き領域を探索し、先頭アドレ  
スを音声開始アドレス記憶回路6に転送すると同時に外  
部インタフェース部1より入力される音声A/D変換  
部3でデジタル化して回路5に 込む。音声を再生する  
時は回路5から音声信号を取出し、変換部3で変換した  
音声を送受話機11に送る。

【メモリカード付き 電話機 着脱 自在 回路 短縮 ダ  
イヤル 会話 音声 録音 再生 データ 登録 コマンド 書  
込み 表示 発呼 探索 開始 空き 領域 先頭 アドレス  
インタフェース AD 変換 送受話機】



(5)

電話 1-137767(9)

[illegible]

次に創作について述べる。

[illegible]

いれを入手することとなり、音戸開始アッパメント  
をもたより強めて聞いて音戸開始で音戸が希望する  
事件で再出される。

(著者の趣意)

以上が、我が国の電報の概況である。電報の用途は、大體分けて、個人間の通信、官公署間の通信、新聞社の通信、銀行間の通信、の四種に分れる。個人間の通信は、電報の用途の大部分を占めてゐる。官公署間の通信は、電報の用途の大部分を占めてゐる。新聞社の通信は、電報の用途の大部分を占めてゐる。銀行間の通信は、電報の用途の大部分を占めてゐる。

第一圖は、本機體の構造を説明するものである。

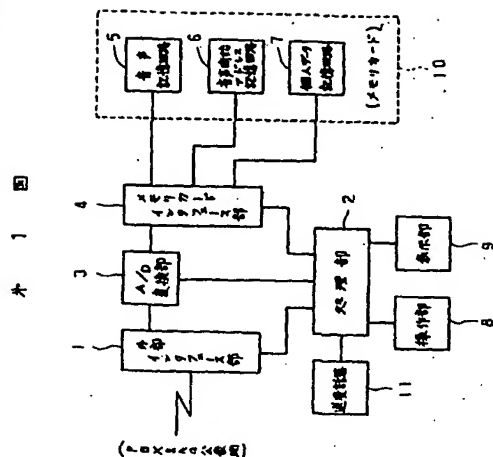
[illegible]

總代理 井ノ口 洋行 日本電報電話株式會社 出版部

-353-

(9)

特圖平 1-137767(4)



-354-